

学校だより

平成29年7月3日発行 第4号

朝霞市立朝霞第四中学校
〒351-0012 朝霞市栄町5-1-60
TEL: 048-466-4711
FAX: 048-467-4744
E-mail: 4chuu@asaka-c.ed.jp
文責: 校長 唐松 善人

目指す学校像 一人一人が輝く 明るく楽しい学校 あたたくきれいな学校

考え方の癖



先日、あるタクシー会社を経営する社長さんの話を伺う機会がありました。その会社では、職場での人間関係を円滑に進めたり、楽しく仕事に取り組んだりできるように、職員研修に様々な工夫を取り入れていました。

その職員研修の一環として、「考え方の癖を変える」という研修を行ったそうです。その社長さんの話によれば、タクシードライバーの多くの方が、お客さんが少なかった一日を振り返って「今日はついていなかった」「今日はイベントがなかったので仕方がない」と業務日誌に書くのだそうです。確かに、お客さんの多い少ないは、天候やイベントなどの要因に左右されることが多いのかも知れません。

しかし、トップクラスの成績を取めているタクシードライバーは、このようには考えません。成績のよいタクシードライバーは、本当の仕事の時間は、お客さんを乗せている時間だけではなく、お客さんを乗せていない「空の状態」で走っているときにもあると考えられるのだそうです。天気予報やイベント終了時刻、電車の到着時刻、他社のタクシーの配車状況などを事前に頭の中に入れ、どの時間にどの場所に行けばお客さんを乗せることができるのかを常に考えています。他人や環境のせいにしていただけでは、自分自身の売上げを伸ばすことはできないと分かっているからです。

これらのことは、考え方の癖といえます。考え方の癖には、「自分自身が向上しようと前向きに考える癖」と「他人や環境のせいにして考える癖」があります。タクシードライバーの例で言えば、お客さんを乗せていない状態、つまり他人から見れば不遇な状況でも、その時期を次に備える準備の時期と考える人は、前向きに考えている人です。一方、自分は運が悪いと考える人は、売上げが伸ばせないことを他人や環境のせいにしてしまっています。これでは、なかなか自分自身が成長することは難しいといえます。

考え方の癖を変えることで、自分の行動や習慣が変わり、さらには運も変わっていくものではないでしょうか。本校の生徒にも、物事を前向きに考える習慣を中学校時代に身に付けさせることで、卒業後に遭遇するかもしれない困難な出来事を自分の力で解決できるようになって欲しいと考えます。



四中の様子



【体育祭】

6月3日(土)に体育祭を実施いたしました。地域のご来賓の皆様方にご来校いただきました。深く感謝申し上げます。また、保護者の皆様方には運営のご協力をいただきましてありがとうございました。



【親親隊】

6月10日(土)に親親隊の活動として、保護者の皆様方がプランターの植え替え作業などを行ってくださいました。土曜日にもかかわらず、多くの皆様方に参加していただき、ありがとうございました。



【学校総合体育大会】

部活動の学校総合体育大会が行われました。日頃の練習の成果を精一杯出して、チームが一丸となって試合に臨みました。試合後に、「このチームで戦えてよかった」と感想を述べた生徒が多くいました。